

2019年5月31日

各 位

会 社 名 クレアホールディングス(株)
代 表 者 名 代表取締役社長 黒 田 高 史
(コード番号 1757 東証第2部)
問 合 せ 先 取 締 役 岩 崎 智 彦
(Tel. 03-5775-2100)

(訂正)「特別損失、営業外費用、営業外収益の計上、及び業績予想の修正に関するお知らせ」
の一部訂正について

2019年5月14日に開示しました「特別損失、営業外費用、営業外収益の計上、及び業績予想の修正に関するお知らせ」の記載内容に一部訂正すべき事項がありましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

2019年5月14日付開示以降も、有価証券報告書の作成に向けた作業として各会計処理を精査しておりましたところ、特別損失から営業外費用への変更(連結決算における貸倒引当金繰入額)、及び追加の損失計上(個別決算における子会社株式評価損)を行うべき内容があり、訂正を行うものです。

2. 訂正の内容

< 1. 特別損失の計上について >

【訂正前】

(1) 連結決算

①貸倒引当金繰入額

建設工事業業において、建設工事2案件に係る資金の回収可能性を考慮し、当該たな卸資産の帳簿価額740百万円のうち370百万円を貸倒引当金繰入額として特別損失に計上いたしました。

(削除後、< 2. 営業外費用の計上について >に移動)

②有形固定資産の減損損失

(後略)

③のれんの減損損失

(後略)

(2) 個別決算

①子会社株式評価損

当社連結子会社であるクレア株式会社について、後述の営業外費用の計上に伴う経営成績及び財政状況の悪化により、当社が保有する当該子会社株式の実質価額が低下したため減損処理を行い、2019年3月期の個別決算において、子会社株式評価損として138百万円を特別損失に計上いたしました。

(訂正後、追記あり)

なお、当該子会社株式評価損は、個別財務諸表のみに計上され連結決算では消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

②貸倒引当金繰入額
(後略)

【訂正後】

(1) 連結決算

① 削除

①有形固定資産の減損損失
(後略)

②のれんの減損損失
(後略)

(2) 個別決算

①子会社株式評価損

当社連結子会社であるクリア株式会社について、後述の営業外費用の計上に伴う経営成績及び財政状況の悪化により、当社が保有する当該子会社株式の実質価額が低下したため減損処理を行い、2019年3月期の個別決算において、子会社株式評価損として138百万円を特別損失に計上いたしました。

また、2019年3月期第4四半期に連結子会社化したトラロックエンターテインメント株式会社について、前述のとおり、2019年3月期の連結決算において、のれんの減損処理を行ったことに伴い、個別決算においても、同社に係る子会社株式評価損として、73百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、当該子会社株式評価損は、個別財務諸表のみに計上され連結決算では消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

②貸倒引当金繰入額
(後略)

< 2. 営業外費用の計上について >

【訂正前】

新潟市秋葉区矢代田駅周辺地区の土地区画整理事業で不動産開発を行う共同事業について、過去に同地にて計画し頓挫した別の不動産開発事業の契約失効についての明確化のために工事を中断し、再開時期が見通せないことから、本共同事業への参画時の投資額(前渡金)300百万円のうち150百万円を、受注損失引当金繰入額として営業外費用に計上いたしました。

【訂正後】

新潟市秋葉区矢代田駅周辺地区の土地区画整理事業で不動産開発を行う共同事業について、過去に同地にて計画し頓挫した別の不動産開発事業の契約失効についての明確化のために工事を中断し、再開時期が見通せないことから、本共同事業への参画時の投資額(前渡金)300百万円のうち150百万円を、受注損失引当金繰入額として営業外費用に計上いたしました。

また、建設工事業において、建設工事2案件に係る資金の回収可能性を考慮し、当該たな卸資産の帳簿価額740百万円のうち370百万円を貸倒引当金繰入額として営業外費用に計上いたしました。

< 4. 業績予想の修正 >

【訂正前】

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|--------------------------|--------------|----------|-------------|---------------|--------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 2,379 | 百万円 7 | 百万円 △16 | 百万円 △29 | 円 銭 △0.27 |
| 今回修正予想(B) | 2,281 | △8 | <u>△166</u> | <u>△680</u> | <u>△5.75</u> |
| 増減額(B-A) | △98 | △15 | <u>△150</u> | <u>△651</u> | — |
| 増減率(%) | 0.0 | — | — | — | — |
| (ご参考) 前期実績 (2018年3月期) | 1,975 | △688 | △783 | △1,612 | △17.04 |

修正の理由

主な理由として、前述の特別損失（連結）合計 487 百万円の計上、営業外費用 150 百万円の計上、及び事業再構築の一環としての新たな分野の事業化に向けた事業開発費用（販売費及び一般管理費）約 14 百万円の計上等により、営業利益、経常利益、及び親会社に帰属する当期純利益が前回予想を下回ることとなりました。

【訂正後】

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|--------------------------|--------------|----------|-------------|---------------|--------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 2,379 | 百万円 7 | 百万円 △16 | 百万円 △29 | 円 銭 △0.27 |
| 今回修正予想(B) | 2,281 | △8 | <u>△528</u> | <u>△672</u> | <u>△5.68</u> |
| 増減額(B-A) | △98 | △15 | <u>△512</u> | <u>△643</u> | — |
| 増減率(%) | 0.0 | — | — | — | — |
| (ご参考) 前期実績 (2018年3月期) | 1,975 | △688 | △783 | △1,612 | △17.04 |

修正の理由

主な理由として、前述の特別損失（連結）合計 117 百万円の計上、営業外費用 520 百万円の計上、及び事業再構築の一環としての新たな分野の事業化に向けた事業開発費用（販売費及び一般管理費）約 14 百万円の計上等により、営業利益、経常利益、及び親会社に帰属する当期純利益が前回予想を下回ることとなりました。

3. 今後の見通し

本件に伴い、2019年5月15日公表の「2019年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の訂正が必要となりましたので、後日、当該決算短信の訂正開示を行う予定です。

以上